

日本医理工連携 特定認定再生医療等委員会

第67回 議事録要旨

日時	2025年11月25日(火)18:00
場所	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、ZOOMでのWEB開催とした
回次	第67回
審査区分	定期報告

出席委員

役割	氏名	専門領域
委員	宇都委員	分子生物学
委員	久保委員	細胞培養加工
委員	金田委員	再生医療
委員	平野委員	生命倫理
委員	難波委員	一般

案件1：脳卒中に対する自己骨髄由来間葉系幹細胞を用いた治療（PB7240011）

再生医療等提供機関	医療法人社団ウェルエイジング Dクリニック福岡
再生医療等の名称	脳卒中に対する自己骨髄由来間葉系幹細胞を用いた治療
計画番号	PB7240011
事務局受領日	2025年10月24日
技術専門員	なし

議論の概要

定期報告について、久保委員より治療実施状況自体は問題ないが、報告書内「科学的妥当性についての評価」の記載を実態に沿った内容へ修正するよう求める指摘があった。金田委員より、良好な臨床成績を学会等で発信することが推奨された。

審議結果

報告内容が再生医療等の安全性の確保等に関する法律に適合しており、当該再生医療提供計画の継続に問題はないと全員一致で認められた。

結論

適

案件2：脊髄損傷に対する自己骨髄由来間葉系幹細胞を用いた治療（PB7240012）

再生医療等提供機関	医療法人社団ウェルエイジング Dクリニック福岡
再生医療等の名称	脊髄損傷に対する自己骨髄由来間葉系幹細胞を用いた治療

計画番号	PB7240012
事務局受領日	2025年10月24日
技術専門員	なし

議論の概要

定期報告について、久保委員より治療実施状況自体は問題ないが、報告書内「科学的妥当性についての評価」の記載を実態に沿った内容へ修正するよう求める指摘があった。金田委員より、良好な臨床成績を学会等で発信することが推奨された。

審議結果

報告内容が再生医療等の安全性の確保等に関する法律に適合しており、当該再生医療提供計画の継続に問題はないと全員一致で認められた。

結論

適

日時	2025年11月25日(火)18:15
場所	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、ZOOMでのWEB開催とした
回次	第67回
審査区分	定期報告

出席委員

役割	氏名	専門領域
委員	宇都委員	分子生物学
委員	久保委員	細胞培養加工
委員	金田委員	再生医療
委員	平野委員	生命倫理
委員	難波委員	一般

案件3：慢性疼痛に対する自己脂肪由来幹細胞による治療（PB3230100）

再生医療等提供機関	医療法人社団 同心会 KYBクリニック
再生医療等の名称	慢性疼痛に対する自己脂肪由来幹細胞による治療
計画番号	PB3230100
事務局受領日	2025年11月11日
技術専門員	なし

議論の概要

定期報告について、平野委員・金田委員・難波委員より教育・研修記録の内容が通常のクリニックカンファレンスの記載に留まり、再生医療に特化した具体的な内容・担当者の記載が不足している

との指摘が相次いだ。宇都委員より、報告フォーム内投与日の記載誤りの可能性、および評価指標（NRS・KOOS）の数値変化の記載追加が求められた。

審議結果

報告内容が再生医療等の安全性の確保等に関する法律に適合しており、当該再生医療提供計画の継続に問題はないと全員一致で認められた。

結論

適

日時	2025年11月25日(火)18:20
場所	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、ZOOMでのWEB開催とした
回次	第67回
審査区分	定期報告

出席委員

役割	氏名	専門領域
委員	宇都委員	分子生物学
委員	久保委員	細胞培養加工
委員	金田委員	再生医療
委員	平野委員	生命倫理
委員	難波委員	一般

案件4：身体に加齢性変化(フレイルおよびプレフレイル)
に対する自己脂肪由来幹細胞による治療（PB5230047）

再生医療等提供機関	医療法人慶春会 福永記念診療所
再生医療等の名称	身体に加齢性変化(フレイルおよびプレフレイル) に対する自己脂肪由来幹細胞による治療
計画番号	PB5230047
事務局受領日	2025年11月16日
技術専門員	なし

議論の概要

定期報告（報告症例数0件）について、全委員より教育・研修記録も含め特段の指摘事項なしとの意見が示された。

審議結果

報告内容が再生医療等の安全性の確保等に関する法律に適合しており、当該再生医療提供計画の継続に問題はないと全員一致で認められた。

結論

適

案件5：神経変性疾患に対する自己骨髄由来間葉系幹細胞を用いた治療（PB5230046）

再生医療等提供機関	医療法人慶春会 福永記念診療所
再生医療等の名称	神経変性疾患に対する自己骨髄由来間葉系幹細胞を用いた治療
計画番号	PB5230046
事務局受領日	2025年11月16日
技術専門員	なし

議論の概要

定期報告について、久保委員より有害事象なく改善例も認められ継続に問題ない旨の意見が示された。金田委員より、多系統萎縮症の症例でUPDRS（パーキンソン病評価尺度）の改善が得られている点は臨床的に非常に良好な結果であるとして、症例が集積すれば学術的な発信が推奨された。

審議結果

報告内容が再生医療等の安全性の確保等に関する法律に適合しており、当該再生医療提供計画の継続に問題はないと全員一致で認められた。

結論

適